



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R6年度 CS通信No.7 R6.9.17



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 「学校運営協議会委員が小中学校を訪問」

鯨ヶ沢町の学校運営協議会は、元教員、町の社会教育委員、町内会の代表者など、地域を代表する様々な団体の方が委員となり、町の小中学校を良くするために活動しています。

活動の一環として、毎年一度、委員の皆さんが各小中学校を訪問し、授業を参観したり、学校の運営状況を聞いたり、児童生徒の皆さんと給食を一緒に食べたりしています。

今回はその様子をご報告します。

### 「西海小学校(9/4)」



授業参観の後、校長先生から学校経営についての説明がありました。

発表に自信を持たせるために、挑戦・協力・継続を重点目標のキーワードにしていること、家庭学習の習慣化と充実を図るため、タブレットパソコンを家庭に持ち帰らせていること、中休み・昼休みの見守りを行い、トラブルの未然防止に努めているというお話がありました。

### 〈委員の感想〉

- ・鯨ヶ沢版の小中一貫教育を進めて行ければ良い。
- ・中学校の教諭による乗り入れ授業は、活気と刺激がある。など

### 「舞戸小学校(9/6)」



各学級の授業では、担任の先生の他に支援員等複数の先生で指導にあたり、子どもたちが落ち着いて学習に取り組む様子が多く見られました。

学校経営等の説明では、校長先生から、「魅力ある学級をつくる」「魅力ある授業をつくる」「魅力ある教師になる」「魅力ある職場をつくる」「魅力ある連携をつくる」等の説明と職員の振り返りに関する説明がありました。

### 〈委員の感想〉

- ・学校経営の「グランドデザイン」をもとに教育活動が着実に実施されている。
- ・配慮が必要な児童には、地域の力、関係機関を上手く活用することも期待したい。
- ・子どもたちと一緒に食べる給食が楽しかった。
- ・普段の学校生活の様子がよくわかった。など

### 「鯨ヶ沢中学校(9/11)」



鯨ヶ沢中学校で、特に力を入れている教育活動は、「心を磨く3活動」(あいさつ・清掃・合唱)の充実です。

あいさつは、相手より先に・相手より元気に・相手と目を合わせてが、原則で、教師が範を示しているそうです。

清掃は、拭き掃除を丁寧に言い、先生がいなくてもできるようにしているそうです。

合唱は、競い合う合唱ではなく、高め合う合唱を目指し、学級で協力して練習していました。

### 〈委員の感想〉

- ・生徒の学校生活のための環境が整っている。
- ・授業中の話し合いに関する調査項目の結果が、全国や県の平均値を越えていることから、意見を言いやすい雰囲気を作られていると言える。